

## 令和6年度 学校移動博物館 開催要項

### 1 ねらい

- 博物館の資料を見たり触ったりすることや、体験活動をすることで、子供たちの発達段階に応じて、社会科のみならず、その他の教科や総合的な学習の時間等の動機付けや充実を図る。
- 学区とその周辺地域、浜松市内の資料について、見たり聞いたり触れたりすることを通して、「ふるさと」の歴史や伝統、文化について理解を深め、「ふるさと」のよさを実感するとともに、大切にしていこうとする気持ちを育てる。
- 学校と博物館との話し合いや運営の中で、博物館資料を活用した学習の方法の普及啓発や相互の連携を図る。

### 2 内容

	<b>職員派遣型</b>		<b>資料貸出型</b>
	通常バージョン	学年限定ミニバージョン	
実施内容	<b>博物館資料の展示と体験活動</b>		<b>博物館資料の展示貸出のみ</b>
職員の派遣	<b>職員 1～4名を派遣する。</b>		<b>なし</b>
資料 搬入・展示 片付け・搬出	<b>博物館職員</b>		<b>教員</b> ※資料の量は、普通自動車に載る程度。
開催時期	別紙の開催日程のとおり 9校開催 ・通常バージョン2校 ・学年限定ミニバージョン7校		別紙の開催日程のとおり 原則として、金曜日貸し出し（16時30分以降）、次週の金曜日返却（16時30分までに）とする。 日時の変更を希望する場合は、博物館に連絡をする。
開催期間	学級数に応じて、2～7日間程度	1～2日	1週間
子供たちへの指導	博物館職員と教員が協力して行う。		教員が行う。
展示の内容	3～4つのキットの展示	開催学年に応じて打ち合わせ時に相談	申し込みの段階で、キットの中から1つを選択する。
体験活動	「火おこし」、「勾玉づくり」、「昔のアイロン・石臼などの道具体験」、「ちょっと昔の遊び」などから選択する。		随時、体験用道具の貸し出しを受け付けている。 希望する場合は、博物館に連絡する。

### 3 開催までの日程

	職員派遣型		資料貸出型
	通常バージョン	学年限定ミニバージョン	
4月上旬	文書連絡(学校代表宛ミライム) ・開催校への通知(要項等含む)		
開催 1か月半 ～2か月前	開催校への訪問、事前打ち合わせ ・内容の具体的説明 ・活動場所、搬入・搬出路等の確認 等		
2～3 週間前	校内の希望集約・調整 時間割表(見学・体験の計画)の作成・提出		文書連絡(学校代表宛ミライム) ・開催内容の確認 ・資料一覧、解説 等
前日準備	資料搬入・展示作業 (2～3時間程度) 教員との簡単な打ち 合わせ(昼休み等)		☆教員が博物館に資料を取り に来て展示する。
期間中	博物館職員と教員で協力して運営		☆教員が運営する。
最終日	片付け・撤収作業(2時間程度)		☆アンケートの記入・報告 ☆教員が片付け、博物館まで届 ける。
事後	☆アンケート回答(ミライム)		

### 4 運営方法(職員派遣型の場合)

- 開催までの日程は、上記「3 開催までの日程」を参照する。
- 「展示解説(見学)」や「体験活動」の内容は、各学年・学級の希望に応じて行う。  
(※内容の詳細は、<別紙1・2>を参照)
- 開催時間は、原則として3時間目から授業終了時刻までとする。
- 博物館職員と教員が協力して授業を行う。(博物館指導主事が主導、またはTTでの補助)
- 昼休みは自由見学や簡単な体験活動の時間として、博物館職員が対応する。(他の休み時間は閉館とする。)(<別紙1>参照)

## 5 展示キット

キット名	内 容	教科書との関連
大昔のくらしの道具	縄文・弥生・古墳時代の特徴的な土器や石器などの実物資料、説明パネル	○6年生の社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」で、土器や石器などの実物資料を提示したり、実際に子どもたちがさわったりしながら学習を進めることができる。 ○教科書掲載の「歴史学習の基本をおさえよう3（歴史博物館へ行こう）」の学習を教室で行うことができる。
昔のくらしの道具	大正から昭和の初めのころの道具。炭火アイロンや火のし、おひつ、羽釜、洗濯板、たらいなどの実物資料、説明パネル	○3年生社会科「道具とくらしのうつりかわり」で資料が集まらなかったり博物館見学ができなかったりしたとき、実物資料を見て調べることができる。道具によっては、体験も可能。
太平洋戦争と浜松	日の丸寄せ書きや千人針、配給切符、焼夷弾などの実物資料、写真パネル、説明パネル	○6年生社会科「長く続いた戦争と人々のくらし」、3年生国語科「ちいちゃんのかげおくり」、4年生国語科「一つの花」、5年生国語科「たずねびと」などで、浜松の戦争について学習するのに効果的。
三方原の開拓	開墾鋤やざるもっこ、天秤棒、背負子などの実物資料、説明パネル	○4年生社会科「きょう土のはってんにつくす」で開墾鋤や天秤棒、背負子など、三方原の開拓に用いられた道具体験をすることで、人々の苦労や工夫について考えることができる。
天竜川の治水	金原鎌（明善鎌）、蛇籠、掛け矢、くい、背負子などの実物資料、DVD「金原明善伝」、紙芝居、説明パネル	○4年生社会科「きょう土のはってんにつくす」で金原鎌（明善鎌）、蛇籠（小型に編んだ物）、掛け矢やくいなどの実物資料を見て学習することができる。

※上記のキット以外にも、資料の貸し出しは随時受付しています。

## 6 その他

- 資料の貸し出しは、随時受け付けしています。
- 各地区にある資料館にも、様々な資料が展示されています。ぜひご利用ください。
  - ・ 舞阪郷土資料館（中央区舞阪町）
  - ・ 姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館（浜名区細江町）
  - ・ 市民ミュージアム浜北（浜名区貴布祢）※R6年度は休館中
  - ・ 春野歴史民俗資料館（天竜区春野町）
  - ・ 水窪民俗資料館（天竜区水窪町）
  - ・ 浜松市地域遺産センター（浜名区引佐町）

※ 現在、資料の貸し出しは、浜松市博物館のみで行っております。  
（各地区の館では、行っておりません）